

アンカーに注意！ クライミング・アンカーの腐食と応力腐食割れによる破損



概要

クライミング・アンカー設置後、わずか数ヶ月~数年で予期せぬ破損がギリシャのレオニディオで報告されました。このような破損は、主にステンレス鋼のアンカーで発生しており、特定の環境下での劣化、すなわち腐食、特に応力腐食割れ（Stress Corrosion Cracking：SCC）が原因です。

クライマーへの推奨事項

クライミング時

- アンカーを目視で確認し、ひび割れなどを探す。ひび割れは必ずしも目に見えるわけではないので注意が必要。
- ルートのクライミングリスクを評価する際には、応力腐食割れ (SCC) も考慮する。
- 複数のボルトで構成されているアンカーを複数使用して確保/降下を行う。可能であれば、ビレイリングも複数使う。
- ビレイ/懸垂下降スタンスのボルトは、ナッツ、カム、樹木、岩等を使ってバックアップを取る。
- 疑わしいボルトがある場合は、クライミング計画を中止できるよう準備をする。

ボルトが破損した場合（クライマーが安全で、負傷者の手当てが済んだ後）

- 破損したアンカーの部品を回収する。（破損面を傷つけたり、破損したアンカーを組立てようとしない）
- 地元のクライミング団体に知らせる。
- **UIAA に連絡**し、壊れたアンカーを分析のために UIAA に提供する。

<https://theuiaa.typeform.com/to/rIBZyc>



ボルト設置者への推奨事項

ボルト設置を行う際は、観光事務所や地元の自治体に問い合わせる。

沿岸地域では UIAA 123 SCC 認定の岩用アンカーを使用する。

長期的な視点で考えて、膨張式のアンカーよりも接着式のアンカーを選択する。

腐食と岩場のアンカーに関する詳しい情報は[こちら](#)をご覧ください：



https://theuiaa.org/documents/safety/09122020_UIAA_ClimbingAnchors_Update_123.pdf